

平成 30 年度千歳地域 SOS ネットワーク事業運営協議会議案書

と き 平成 30 年 7 月 31 日 (火) 13 時 15 分～

ところ 北ガス文化ホール (千歳市民文化センター) 小会議室 1

会議次第

開 会

1 会長あいさつ

2 議 事

(1) 報告事項

報告第 1 号 平成 29 年度事業報告について

(2) 審議事項

議案第 1 号 平成 30 年度事業計画について

(3) その他

閉 会

平成29年度事業報告について

平成29年度事業結果について、別紙のとおり報告します。

平成30年7月31日 提出

千歳地域SOSネットワーク事業運営協議会
会長 力 示 武 文

平成 29 年度千歳地域 SOS ネットワーク事業運営協議会 事業報告

平成 20 年 7 月に発足させた千歳地域 SOS ネットワーク事業運営協議会（以下、「運営協議会」という。）は、今年で 10 年が経過しました。当初 50 団体でスタートした協力事業者数は 149 団体に増え、高齢者等を地域で見守るネットワークの輪が大きく広がりました。

警察庁の調べによると、平成 29 年に全国の警察に届け出があった行方不明者のうち、認知症が原因だった人は前年比 431 人増の 1 万 5863 人に上り、平成 24 年の統計開始から 5 年連続で最多を更新しました。

また、平成 28 年以前の届け出を含めて、平成 29 年中に無事が確認できた認知症の不明者は 1 万 5166 人（98.8%）で、確認までの期間は届け出当日が 1 万 1027 人、2～7 日目が 4034 人で 99.3%の方は 1 週間以内に発見されていることがわかりました。一方で、470 人は死亡が確認され、所在を確認できなかった人は 227 人にのぼり、早い段階での対応が重要となっています。

運営協議会における行方不明者の捜索では、警察からの連絡を受けて千歳地域 SOS ネットワークにより 3 件の所在不明者情報を発信し、そのうち警察の捜索活動で発見されたケースが 1 件、自力帰宅が 2 件となっています。特に、夜間及び休日に行方不明になる事案が増えていることを受け、夜間及び休日に稼働する団体に捜索協力の意向調査を行い、協力の同意を得た 43 団体の協力のもと、夜間及び休日の捜索を新たに開始しました。

認知症や障がいのある人などの日常的な見守り支援では、市民からの通報により安否確認を行ったケースが 1 件あったほか、広報紙やホームページでの周知・啓発を行い、協力事業者の拡大を図りました。

以下、本年度の事業計画に掲げた実施概要及び推進状況については、次のとおりです。

1 認知症や障がいのある人などの行方不明者への早期発見・保護の協力

(1) 千歳地域捜索ネットワークの運用

ア ネットワーク発信及び発見状況

(件)

年 度	期 間	件数	発見者					本人自力 帰宅	未発見
			警察官	家族	関係者	地域	運営協議会		
H20 ～ H28	H20 年 7 月 ～H29 年 3 月	5 9 (*5)	2 4 (2)	3	0	1 4 (3)	0	1 3	5
H29	H29 年 4 月 ～H30 年 3 月	3	1	0	0	0	0	2	0
	合 計	6 2 (*5)	2 5 (2)	3	0	1 4 (3)	0	1 5	5

* 関係者：介護事業所・ケアマネージャー・包括支援センター職員・病院・消防

地 域：近隣住民・通行人・コンビニエンスストア・ガソリンスタンド等

() の数字は、死亡した状態で発見された件数を示す。

(*) の数字は、あんしん登録制度（事前登録制度）に登録された方の発信件数を示す。

イ ネットワーク利用者の状況

①年齢・性別

(人)

年齢 \ 性別	男性	女性	計
30～39 才	1	0	1
70～79 才	1	0	1
80 才以上	1	0	1
計	3	0	3

②ネットワーク検索願・情報発信月 (件)

7 月	11 月	3 月	計
1	1	1	3

③ネットワーク検索願・情報発信時間 (件)

10 時～12 時	12 時～14 時	22 時～0 時	計
1	1	1	3

(2) 早期発見・保護の協力者の拡大

ア 新規加入委員数 4 団体

イ 新規加入委員名簿一覧

(敬称略)

No.	機関・団体名	代表者名	委員名	住 所	加入年月
1	千歳市管工事業協同組合	平野 幸也	高橋 信利	上長都 2 番地 22	H29.5.18
2	千歳市水道局	牧野 敏彦	舟山 頼人	東雲町 3-2-5	H29.5.29
3	千歳北交ハイヤー株式会社	栗原 廣	松口 雄二	信濃 1 丁目 8 番 14	H30.2.15
4	セイコーマート千歳新富店	池永 瑞穂	池永 瑞穂	新富 1 丁目 20 番 5	H30.2.15

ウ 運営協議会委員の機関・団体別構成推移

・登録団体数 149 団体 (前年度比 2 団体減)

(団体)

年度	企業	福祉関係機関	医療機関	福祉団体	行政機関	合 計
H28	75	59	7	7	3	151
H29	73	58	7	7	4	149

※新規登録が 4 団体、登録解除が 6 団体で、全体で 2 団体の減となっています。

登録解除の理由は、いずれも事業所の閉鎖によるものです。

エ メール配信サービスの利用促進

千歳市が携帯電話やパソコンに電子メールで所在不明となっている方の情報をお知らせするメール配信サービスによる「未帰宅者情報」の利用促進を図り、協力者拡大に努めました。

・平成 29 年度配信回数 2 回 (登録者 284 件)

※千歳市より情報提供 (SOS ネットワークで発信した 3 件の行方不明とは別件)

オ 夜間及び休日の捜索拡大

夜間や休日に行方不明になる事案が増えていることから、夜間及び休日に稼働する団体に捜索協力の意向調査を行い、協力の同意を得た団体には千歳警察署から直接依頼する方法をとり、夜間及び休日の捜索拡大を図りました。

なお、3月から開始するにあたり、実施要領の一部を改正するための書面表決を行い、次のとおり承認され実施しました。

- ・書面表決の結果 承認 100名/149名中（無回答 49名）
- ・夜間及び休日の協力団体数 43団体（新聞販売店9ヶ所、タクシー会社7ヶ所、コンビニエンスストア27ヶ所）
- ・開始時期 平成30年3月1日
- ・夜間及び休日のネットワーク発動状況 1件

（3）千歳地域捜索ネットワーク事前登録制度の実施

ア 登録（解除）状況

（件）

年度	性別			年代					障がいの状況				徘徊歴		
	男性	女性	合計	10代	60代	70代	80代	90代	知的	認知症の程度			不明	有	無
										軽度	中度	重度			
H22 ～H28	44	72	116	1	5	31	55	24	1	28	67	20	0	59	57
H29	17	16	33	-	-	8	25	-	-	13	14	4	2	21	12
解除	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	61	88	149	1	5	39	80	24	1	41	81	24	2	80	69

2 認知症や障がいのある人などの日常的な見守り支援

（1）千歳地域見守りネットワークの運用

地域住民の日常生活のちょっとした異変を発見した場合に、運営協議会事務局に連絡してもらい、新聞販売、郵便等の配達業務を行う事業者等と連携して安否確認等の対応をするほか、緊急時には警察や消防等への通報に協力するネットワークの運用を進めました。

ア. 協力事業者の状況（前年度比3事業者増）

（団体）

	企業	福祉関係機関	医療機関	福祉団体	行政機関	合計
協力事業者	27	35	6	7	4	79

※新規登録が4団体、登録解除が1団体で、全体で3団体の増となっています。

登録解除の理由は、事業所の閉鎖によるものです。

イ. 通報件数 1件（市民から「昨日から電話が繋がらない」と通報）

対応結果 安否確認のため対象者宅を訪問し無事を確認（電話不調のため着信しなかった）

（2）千歳地域見守りネットワーク事前登録制度の実施

緊急時に高齢者等の安否確認を速やかに行うため、世帯状況や緊急連絡先等の情報を登録いただく地域見守りネットワーク事前登録制度の普及を図り、緊急時の備えとしました。

【登録状況】

(人)

年度	性別			年代		
	男性	女性	合計	70代	80代	90代
H28	2	-	2	-	2	-
H29	1	1	2	1	-	1
合計	3	1	4	1	2	1

3 SOSネットワークの会議、研修、広報、実施事業関係

(1) 会議

ア. 役員会

と き (第1回) 平成29年7月4日、(第2回) 12月13日

会 場 千歳市社会福祉協議会 会議室2・3

出席者 (第1回) 役員12名、(第2回) 役員15名

内 容 【第1回】

- ・平成28年度事業報告、平成29年度事業計画
- ・千歳地域SOSネットワーク事業運営協議会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について
- ・千歳地域SOSネットワーク事業実施要領の一部を改正する要領の制定について

【第2回】

- ・平成29年度行方不明高齢者等搜索模擬訓練の結果について
- ・地域搜索ネットワークの夜間及び休日の対応について
- ・千歳地域SOSネットワーク事業実施要領の一部を改正する要領の制定について

イ. 運営協議会

と き 平成29年8月1日

会 場 北ガス文化ホール(千歳市民文化センター)

出席者 32名(32団体)

内 容

- ・平成28年度事業報告、平成29年度事業計画
- ・千歳地域SOSネットワーク事業運営協議会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について
- ・千歳地域SOSネットワーク事業実施要領の一部を改正する要領の制定について

(2) 研修

と き 平成29年8月1日

会 場 北ガス文化ホール(千歳市民文化センター)

内 容 テーマ「認知症の人が安心、安全に暮らせる地域づくり」

話し手 千歳 認知症の人を支える家族の会 会長 青柳 薫 氏

大野 秀子 氏

インビュアー 社会保険労務士事務所メディケアリンク千歳 代表 及川 進 氏

ロールプレイ「認知症の人に対する声かけの方法について」

講師 認知症地域支援推進員 作田 直人 氏、吉田 肇 氏

出席者 124名

(3) 広報、啓発活動

①「千歳高齢者見守り強化月間」の実施

9月及び2月を見守り強化月間として設定し、行方不明高齢者等捜索模擬訓練の周知や啓発看板の設置等を行いました。

②市民向けの広報・啓発活動の強化

ア 社会福祉協議会が発行する広報紙「社協だより」2月号に記事掲載

イ 社会福祉協議会のホームページへの事業概要及び運営協議会委員（構成団体）の紹介

ウ 運営協議会委員へSOSネットワークステッカーの配付、設置依頼

エ 「認知症の人への見守り、声かけ対応マニュアル」の配付により啓発

(4) 実施事業

・行方不明高齢者等捜索模擬訓練の実施

認知症等の人が行方不明になったという設定のもと、地域捜索ネットワークを活用して、「通報～連絡～捜索～発見・保護」の情報伝達の流れを訓練しました。

と き 平成29年10月18日

※当初実施予定日（9月12日）が悪天候のため上記に延期して実施

場 所 ①富丘1・2丁目地区 ②富丘3・4丁目地区

③若草・白樺・里美地区 ④柏陽・福住・文京地区

内 容 それぞれの場所で高齢者が行方不明になったと設定し、所在不明者の捜索と声かけ、発見後の保護や通報の方法について確認を行いました。

参加者 13団体／149団体中（前年度比16団体減）

※実施日が延期となったことから参加団体が前年度より減少した

発見件数 7件（前年度比4件減）

※内訳 ①富丘1・2丁目地区～1件 ②富丘3・4丁目地区～1件

③若草・白樺・里美地区～4件 ④柏陽・福住・文京地区～1件

実施結果（アンケート調査等の結果から）

（成果）

- ・実施地区の町内会にも事前に周知し参加を呼びかけたことから、ネットワークや訓練についての周知拡大につながったとともに、地域住民にも発見・声かけに協力いただき、早期発見保護に向けた協力体制の充実につながった。

（課題及び改善点）

- ・実施地区を4ヶ所に増やしたが、地域が分散したため発見件数が少なかったことから、実施地区を1ヶ所に定め、その中で複数の行方不明者役を配置するなど、より多くの人に発見してもらえる方策を検討する。
- ・実施地区の町内会の参加が2町内会にとどまったことから、実施地域に集合場所を設けて複数（2～3名のグループ）で参加できるようにするなど、地域住民が参加しやすい方策を検討する。

平成30年度事業計画について

平成30年度事業計画について、別紙のとおりご承認願いたい。

平成30年7月31日 提出

千歳地域SOSネットワーク事業運営協議会
会長 力示 武文

平成 30 年度 千歳地域 SOS ネットワーク 事業運営協議会 事業計画

事業計画	実施内容	新規 継続
1. 認知症や障がいのある人などの行方不明者への早期発見・保護の協力	<p>(1) 千歳地域検索ネットワークの運用 認知症等のある人が行方不明になった際に、千歳警察署からの同報ファックスと本会が発信するEメールにより情報提供を図り、行方不明者の早期発見・保護・通報に協力します。</p> <p>(2) 早期発見・保護の協力者の拡大 千歳市が携帯電話やパソコンに電子メールでお知らせする「地域安心・安全情報メール配信サービス」による「未帰宅者情報」の利用促進を図り、協力者の拡大に努めます。</p> <p><u>(3) 夜間及び休日の検索</u> <u>夜間や休日に稼働する団体の協力のもとに千歳警察署から直接依頼する方法で夜間及び休日の検索を行います。</u></p> <p>(4) 千歳地域検索ネットワーク事前登録制度の実施 徘徊等による行方不明の不安を抱える人を迅速に発見・保護するため、検索に必要な情報等を登録する事前登録制度の普及に努めます。</p>	<p>継続</p> <p>継続</p> <p>新規</p> <p>継続</p>
2. 認知症や障がいのある人などの日常的な見守り支援	<p>(1) 千歳地域見守りネットワークの運用 地域住民の日常生活におけるちょっとした異変を発見した場合には、運営協議会事務局へ連絡し関係機関と協力・連携して安否確認等の対応をするほか、緊急時には警察及び消防（救急車）への通報に協力します。</p> <p>(2) 千歳地域見守りネットワーク事前登録制度の実施 緊急時に高齢者等の安否確認を速やかに行うため、世帯状況や緊急連絡先を登録する事前登録制度の普及に努めます。</p>	<p>継続</p> <p>継続</p>
3. SOS ネットワークの会議、研修、広報、実施事業関係	<p>(1) 会議 検索及び見守りネットワークの効果的な運用を図るため、事業の検証とネットワークの強化を図ります。</p> <p>ア. 役員会 日 時 平成 30 年 6 月 25 日 (月) 場 所 千歳市社会福祉協議会 会議室 2・3 内 容 平成 29 年度事業報告、平成 30 年度事業計画</p> <p>イ. 運営協議会 日 時 平成 30 年 7 月 31 日 (火) 場 所 北ガス文化ホール (千歳市民文化センター) 4 階小会議室 1 平成 29 年度事業報告、平成 30 年度事業計画</p> <p>(2) 研修</p>	<p>継続</p> <p>継続</p>

	<p>認知症地域支援推進員との協働により、認知症に対する理解の促進と認知症高齢者及び介護家族を地域ぐるみで支えるネットワークの充実を図ることを目的に開催します。</p> <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業説明「地域 SOS ネットワーク事業について」 説明 千歳市社会福祉協議会地域福祉課地域福祉係 ・認知症地域支援推進員について紹介 ・認知症の人に対する対応について <p>講師 千歳 認知症の人を支える家族の会（はまなすの会） 認知症地域支援推進員</p> <p>日 時 平成 30 年 7 月 31 日（火）14：00～15：30 場 所 北ガス文化ホール（千歳市民文化センター） 4 階大会議室</p> <p>(3) 広報、啓発活動</p> <p>①「千歳高齢者見守り強化月間」の実施 高齢者等の見守りを強化するため、9 月及び 2 月を見守り強化月間として設定し、地域で高齢者等を見守り支え合う気運の醸成を図ります。</p> <p>②市民向けの広報・啓発活動を強化します。</p> <p>ア 社協広報紙、ホームページへの記事掲載 イ SOS ネットワークステッカーの配付、設置 ウ 事業周知チラシの配付 エ 「認知症の人への見守り、声かけ対応マニュアル」の配付</p> <p>(4) 実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行方不明高齢者等捜索模擬訓練の実施 認知症地域支援推進員との協働により、認知症等の人が行方不明になった想定で、行方不明者の捜索訓練を実施します。なお、<u>発見時の適切な対応方法を確認するため、事前に認知症の人に対する声かけ方法の講習を行うなど訓練内容を拡大して実施します。</u> <p>日 時 平成 30 年 9 月 14 日（金）10 時～12 時 ※予備日 平成 30 年 9 月 21 日（金） 場 所 千歳市総合福祉センター402 号室、東雲町周辺 内 容 捜索模擬訓練の説明、認知症の人に対する声かけ方法講義、捜索模擬訓練 対象者 地域 SOS ネットワーク事業運営協議会委員ほか千歳市民 協 力 認知症地域支援推進員 ※別紙実施計画添付</p>	<p>継続</p> <p>拡大</p>
--	--	---------------------

じぶんの町を
良くするしくみ。



赤い羽根共同募金 